

サービス評価結果報告書

中津市福祉部介護長寿課 あて

提出日:令和 8年 3月 18日

サービス種別 (該当に○)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護			
	○	小規模多機能型居宅介護	○	介護予防小規模多機能型居宅介護
	看護小規模多機能型居宅介護			
	(介護予防)認知症対応型共同生活介護			
事業所番号	4490300235			
事業所名	小規模多機能ホームだいごぼう			
法人名	株式会社サンライズコーポレーション			
代表者名	代表取締役 袖潤 大地			
事業所所在地	(〒 871 - 0151) 大分県中津市大字大悟法 662 番地 1			
担当者名	橋本 潤士			
連絡先	電話	TEL 0979-32-0077	mail	daigobou@juno.ocn.ne.jp
	FAX	FAX 0979-32-0077		

以下のとおり、資料を添えて提出します。

運営推進会議等での評価 実施日	令和 8年 3月 18日
-----------------	--------------

「**※要提出**」の書類を添付します。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙1) 自己評価・外部評価 評価表……………公表
小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)	
	・(別紙2-1) スタッフ個別評価 ……………事業所にて保管
<input checked="" type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-2) 事業所自己評価 ……………公表
	・(別紙2-3) 地域からの評価……………事業所にて保管
<input checked="" type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-4) サービス評価総括表……………公表
看護小規模多機能型居宅介護	
	・(別紙3-1) 従業者等自己評価……………事業所にて保管
	・(別紙3-2) 事業所自己評価……………事業所にて保管
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙3-3) 運営推進会議における評価……………公表
(介護予防)認知症対応型共同生活介護	
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-2) 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 公表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月26日(16:30~17:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー (袖澗代表、袖澗ホーム長)
橋本、尾崎、安田、宮崎、井崎、東山、是恒、橋下、重松
桑津留、矢野、大坪、上羽、野中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	8人	6人			14人

前回の改善計画

利用開始前には利用者様、家族様との情報交換を密に行い、ミーティングにて情報を共有する。
新規利用者情報ファイルを必ず確認する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・利用開始前にはアセスメントをまとめ「新規利用者情報ファイル」にファイルし、朝礼、終礼にて回覧を周知した。
- ・リーダー会議、スタッフ会議にて利用者の情報を文章化し、職員全員で共有し利用開始後の振り返りも実施した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	12人	2人			14人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	8人	6人			14人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	8人	6人			14人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6人	8人			14人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・送迎時に家族へ施設での様子を口頭で伝えコミュニケーションを図り、会話の中から聞き出し関係を作った。また、家族からの要望も受け入れ対応した。
- ・いつもと表情が違う利用者様への対応を意識し、声掛けした。
- ・新規利用者様や家族様に安心して頂く様にこちらから話しかけた。
- ・個別性を考えた対応を心掛けた。
- ・まず挨拶をしっかりおこない、表情の変化や体調の変動を見分けられるように努めた。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・送迎以外で家族と話す機会があまりない。
- ・新規利用者情報は確認できているが、変更時には情報共有ができていないときがある。
- ・情報ファイルを確認していても初めからご本人様、ご家族様がまず必要としている支援が完璧にできているのか不明。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

(総括)

初回利用に向けて、利用者様、ご家族様から得た情報を、新規利用者情報ファイルにファイリングし、職員全員と共有することができた。サービス内容変更した場合、全職員が把握していないことがある。

(目標)

知り得た情報やサービス内容変更時には終礼ノート、申し送りノートに記載、もれることなく職員が確認する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 12 月 26 日 (16 : 30 ~ 17 : 30)

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー (袖澗代表、袖澗ホーム長)
橋本、尾崎、安田、宮崎、井崎、東山、是恒、橋下、重松
桑津留、矢野、大坪、上羽、野中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	5人	8人	1人		14人

前回の改善計画	利用者様との関わりから感じたことを、スタッフ全員で共有、望む生活「～したい」を叶える。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様の「～したい」を毎月のスタッフ会議で共有した。 新たに知り得た情報は終礼ノートに記載、朝礼時、終礼時、スタッフ会議時に職員と共有した。 したいことを計画し、実施した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標 (ゴール) 」がわかっていますか?	4人	9人	1人		14人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	6人	7人	1人		14人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3人	9人	2人		14人
④ 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4人	8人	2人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 雑談の中から本人様のしたいことを知り、本人の当面の目標 (～したい) を個別に記載、スタッフ会議で周知した。 一人一人の「～したい」を意識し関わり、会話から「～したい」を聞き出した。 日常の何気ない会話から小さな「～したい」ことを繋げた。 言葉や態度から希望していることを叶えた。 「～したい」思いに寄り添い、傾聴し、ミーティングで共有した。 日々の関わりについて、個々のニーズを念頭におき支援した。また、毎月のスタッフ会議にて確認した。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 毎日が流動的で新しい事案があってもそのままになってしまうことがある。 「～したい」と言える利用者様は意見が通りやすいが、言い出せない方は叶えられないことがある。 次の業務を意識し、時間短縮のため利用者様のできることまで手を出してしまうことがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>(総括) 会話のできる利用者様は、会話の中から「～したい」望みを聞き出し、叶える事ができており職員もやりがいに繋がった。自分の思いを伝えられない方の望みをどのように把握していくかが課題となる。</p> <p>(目標) 言葉で意思表示が難しい利用者様について好みや大切にしてきたこと、家族様の声から思いを組み取り支援する。できない理由より、できる形を考える。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 12月 26日 (16:30～ 17:30)

3. 日常生活の支援

メンバー (袖澗代表、袖澗ホーム長)
橋本、尾崎、安田、宮崎、井崎、東山、是恒、橋下
重松、桑津留、矢野、大坪、上羽、野中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4人	10人			14人

前回の改善計画	些細な変化や言葉から情報収集、共有し、一人一人利用者様の生活の質を高める。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本様の表情やしぐさ、会話の中から得た情報を職員と共有し、その都度、迅速に対応した。 ・多職種の視点で多方面から情報収集した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	3人	5人	6人		14人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8人	6人			14人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5人	9人			14人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	9人	5人			14人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか?	6人	8人			14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人様の状況に応じた食事形態や好きなものなどを把握、少しでもおいしく自力摂取できるように支援している。食べることが「嫌」にならない様に支援できた。 ・広い視野で利用者様の言葉や行動を確認した。話の中から小さな変化を見落とさないように注意した。 ・日々の状況をスタッフ全員で共有、利用者様がストレスなく過ごせるよう努力した。 ・ご本人様の思いに添えた。また、連絡帳から情報を得た。 ・表情変化や言葉を通じてその時のニーズや思いをキャッチできるよう努めた。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・以前の暮らし方を10個以上把握できていない利用者様もいる。 ・日常生活は連絡帳からでしか把握できていない。 ・意思表示の困難な方は表情等で確認しているがその対応で良いのかわからないことも多い。 ・感情的になり本人の話をよく聞くことができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>(総括) 支援の中で利用者様のライフスタイルや背景を少しずつ引き出し、職員全員で共有、その方の大切にしてきた価値観を理解することで、利用者様が落ち着いて過ごせる日常を整えることができた。少しでも多く情報を得て、支援の質を高めてきた。</p> <p>(目標) 過去にしてきたこと、得意だったことを支援に活かすため、「できる力」を尊重した支援をする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 12 月 26 日 (16 : 30 ~ 17 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー (袖澗代表、袖澗ホーム長)
橋本、尾崎、安田、宮崎、井崎、東山、是恒、橋下
重松、桑津留、矢野、大坪、上羽、野中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	5人	8人	1人		14人

前回の改善計画
利用者様や家族様の会話の中から、以前の暮らしぶりを聞き出し共有する。 地域との関係が切れないよう、地域イベントへ参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながりを続けるため、近所の方に会えば挨拶し関係を深め、地域で開催される行事へ積極的に参加した。 ・利用者様によっては家族への助言、情報提供を実施し関係を築いた。 ・だいがぼうのことを知ってもらうためマルシェやワクワク広場を開催した。また、だいがぼうが地域の一員として行事参加や活動に協力した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3人	10人	1人		14人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	6人	8人			14人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2人	8人	4人		14人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1人	8人	5人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・体が不自由になり参加を諦めていた利用者様と一緒に地域の行事に参加することができた。 ・週一体操や大幡こども園に運動会など参加した。 ・会話の中から生活環境や暮らしかたについて以前より知る機会が増え、把握できるようにした。 ・地域のイベントに参加する機会が昨年より増えた。インスタグラムでの施設の宣伝ができている。 ・だいがぼうでのマルシェやワクワクひろば開催することで地域の方がたくさん来所してくれた。 ・生活スタイルを優先した支援ができている。家族との良好な関係が維持できるように支援した。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の社会資源の把握量が少ない。 ・大悟法地区以外の行事への参加つながりが薄い。 ・利用者様の正確な情報を得ることができなかった。 ・事業所が直接接していない時間に本人がどのように過ごしているかあまり把握できていない。 ・家族が居ても居なくても利用者様との関わりが薄い家族が多いため情報を提供しても返事がない時がある。 ・すべての利用者様の地域の資源を把握できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>(総括) だいがぼうでのマルシェ、ワクワク広場開催など施設が地域の一員として取り組み、インスタグラムをはじめ、だいがぼうのことを知ってもらう機会を作った。世代間の交流や地域の祭りなど積極的に参加し、地域との繋がりを継続し地域との暮らしを支えた。施設中心ではなく地域・在宅中心で支援した。</p> <p>(目標) 利用者様を支えている人や環境を把握し、地域の中で暮らしを支える視点を持ち支援する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 12月 26日 (16:30～ 17:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー (袖澗代表、袖澗ホーム長)
橋本、尾崎、安田、宮崎、井崎、東山、是恒、橋下、重松
桑津留、矢野、大坪、上羽、野中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	10人	4人			14人

前回の改善計画	本人の状態・ニーズに合わせた柔軟な対応、支援をさらに強化する。 急遽変更時には利用予定表、白板へ記入し周知を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・体調変化時には小規模多機能ならではの臨機応変に柔軟に対応した。 ・地域の社会資源も含めて柔軟に組み合わせ対応した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	8人	5人	1人		14人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	13人	1人			14人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	12人	2人			14人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	11人	3人			14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・「気づき」を共有しご本人様、お家族様の体調に応じ柔軟な対応が行えた。 ・利用者様が求めた時、早急に対応することができた。 ・地域の資源をよく活用し、必要な時に必要な支援ができています。 ・利用者様の気づきをミーティングで共有することを心掛けた。 ・利用者様のライフラインのトラブルがあった際にも速やかに対応できた。サービス変更にも十分に対応した。 ・職員全員で小規模多機能の特性を理解し活かした。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・自分の考えをあまり口に出せない利用者様の支援が不足しているのではないかと思う事もある。 ・急なサービス利用や変更時は職員への伝達が不十分であり、報告、連絡、相談が一部のみになっている場合がある。 ・継続した支援についていつまでという尺度が分からないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
(総括) 小規模多機能のサービス形態に限らず、社会資源も機能と捉え、地域の社会資源も含めた柔軟に組み合わせ対応することができた。 (目標) 小規模多機能としての「多機能」と社会資源を使う「多機能」の視点を持ち支援する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 12月 26日 (16:30～ 17:30)

6. 連携・協働

メンバー (袖澗代表、袖澗ホーム長)
橋本、尾崎、安田、宮崎、井崎、東山、是恒、橋下
重松、桑津留、矢野、大坪、上羽、野中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	10人	4人			14人

前回の改善計画	地域行事、イベントに参加し、地域の特性を確認、地域の方々と関係を築く。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様の希望や体調を確認しながら参加可能な行事に参加した。 世代間の交流を意識しながら支援した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	7人	2人	4人	1人	14人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	7人	2人	2人	3人	14人
③ 地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	9人	2人		3人	14人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	9人	4人	1人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> だいがぼうに来てくれた小学生が通学路で送迎車に手を振ってくれたとき、乗車中の利用者様が喜んで手を振った。この出来事から、地域の方々と良好な関係が見えてきた。 だいがぼうマルシェやワクワク広場開催し、地域住民が施設に来る機会が増えた。 週一体操や菊花展、おしんげや、大悟法貴船神社でのお祭りなどに参加し地域の方との交流する機会が増えた。 施設パンフレットやチラシを地域へポスティングする際、地域の方々と話をする機会が増えた。 地域の方が紙芝居に来て頂いたり、包括支援センター村上の方が手品を披露してくれ施設への来客が増えた。 世代間の交流を実施した。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> だいがぼう施設としては実施できているが、個人として自治体や包括支援センターとの会議等には参加できていない。ただ、情報は共有できている。 勤務の都合もあり参加できていない。 町内会の行事、活動イベントを十分に把握しておらず参加できていないこともある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>(総括) 利用者様の暮らしを支えるために事業所だけではなく訪問看護、民生委員、配食サービス業者など他の方々と協力して支援してきた。顔の見える関係づくりも連絡先だけ知るのはなく、会ったことのある。話したことのある関係を作った。</p> <p>(目標) 連携は連絡で終わらせず、必ず支援に繋げる。繋がった後、変化を見て全員で共有する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 12月 26日 (16:30～ 17:30)

7. 運営

メンバー (袖澗代表、袖澗ホーム長)
橋本、尾崎、安田、宮崎、井崎、東山、是恒、橋下、重松
桑津留、矢野、大坪、上羽、野中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	5人	6人	2人	1人	14人

前回の改善計画	利用者様、ご家族様へ顧客満足度アンケートを実施する。運営推進会議のメンバー様からの意見を運営に反映する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・顧客満足度アンケートは今年度中に実施し、職員全員で共有する。 ・運営推進会議メンバー様から助言を受けた内容をスタッフ会議にて共有した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	6人	7人	1人		14人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	12人	2人			14人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	12人	2人			14人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	7人	6人	1人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・運営推進会議で発言しやすい雰囲気を作り、メンバー様から意見を頂きやすいようにした。意見を運営に反している。 ・利用者様や家族様からの意見をその都度報告し、改善に努めた。 ・職員の意見を聞き改善できるようにしている。 ・利用者様の意見などは他の職員と共有できている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・個々のニーズに対応する点については十分にできていない時もあり、物事を多角的に捉えることができなかった。 ・事業所の在り方について職員として意見を言うことはほとんどなかった。 ・利用者様や家族様の方々の満足度は良くわからない。 ・自分で解決することは少なく言われたことで動くことが多い。自分の意見、意思をうまく伝えることができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
(総括) 事業所として運営に関する意見を言える雰囲気を作った。職員間の情報共有を徹底し、質の確保に努めた。	
(目標) 毎月のスタッフ会議にて、利用者様の状況や業務内容、体制状況を共有し、職員全員が同じ方向性で支援する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 12月 26日 (16:30～ 17:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー (袖澗代表、袖澗ホーム長)
橋本、尾崎、安田、宮崎、井崎、東山、是恒、橋下、重松
桑津留、矢野、大坪、上羽、野中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	7人	3人	3人	1人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・ヒヤッとしたこと、ハットしたことは必ず、記録し分析、対策を考え事故を防ぐ。・一人一人が外部研修の情報を収集し、外部研修に参加する意識を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・研修の案内を見やすい位置に張り出した。・ヒヤリハットの内容で検討した対策を日々の支援に反映し、事故防止に努めた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	7人	5人	1人	1人	14人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5人	5人	3人	1人	14人
③ 地域連絡会に参加していますか	5人	1人	2人	6人	14人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	5人	9人			14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・外部研修はZoomで参加した。・介護の仕事に関係がある番組があれば見た。アンガーマネジメントの研修に参加した。・掲示板を確認し、出来るだけ多くの研修に参加しスキルアップに努めた。・ヒヤリハットの報告書を共有し、スタッフ全員で原因と対策を考察しリスクマネジメントに取り組んだ。・常にリスクを考えながら業務を行うことで慎重に支援した。・リスク管理については常に念頭において行動している。・常に事故を予測し行動している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ヒヤリとすることがあったがヒヤリハットで報告することを忘れてしまった。・ヒヤリハット事例では?と思うことがあっても当事者が提出しなければなかったことになってしまう。それを言う人がいない。・外部研修の参加の少なさと共有情報の少なさがある。・外部研修は勤務の都合上、参加できていないことも多く、自発的に参加ということもできなかった。・研修などに参加できていないため、どんなことがあったのか申し送りを聞き自分なりに自己学習を心掛けている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>(総括) ヒヤリハットの報告研修が少なく感じる。リスクの見える化や共有が充分に行えていない状況がある。 自己研修への参加やヒヤリハット報告についてさらなる促進が必要な状況である。</p> <p>(目標) ・「ヒヤリ」と感じた内容をスタッフ会議で共有し、再発防止に取り組む。また、オンライン研修等を活用してスキルアップ、支援の質の向上を図る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 12月 26日 (16:30～ 17:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー (袖潤代表、袖潤ホーム長)
橋本、尾崎、安田、宮崎、井崎、東山、是恒、橋下、重松、桑津留、矢野、大坪、上羽、野中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	7人	7人			14人

前回の改善計画

もし自分なら、こうして欲しい。こんな声かけはして欲しくない。との思いを常に持って対応する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・共感的な関わりを意識して支援した。
- ・声掛け、対応の振り返り、尊重した対応を実施した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	12人	2人			14人
② 虐待は行われていない	14人				14人
③ プライバシーが守られている	8人	6人			14人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	10人	4人			14人
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	12人	2人			14人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・目線を合わせ、丁寧な言葉で接した。
- ・常に言葉使いに気を付け、プライバシーを守っている。
- ・プライバシーを守り、個人情報について注意を払った。身体拘束や虐待を行うことなく支援が行われている。
- ・何気なく言った言葉が嫌な気持ちにならないよう言葉に気を付けている。
- ・他の職員の言葉かけや態度をみて参考にした。
- ・自身が発した言葉が不適切ではなかったか、どうなのかを考えながら支援した。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・難聴の方との会話が他者に聞かれてしまう。
- ・つい感情的になり言葉がきつくなることがあるので注意している。
- ・利用者が近くにいるのに、職員同士で個人情報を話してしまう。
- ・業務に追われ声かけられると「待ってください」とまたせることが多々ある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

(総括)
もし、自分が利用者だったらどう感じるかという視点を意識し取り組んだ。一時的に業務が集中した場面では無意識のうちに言葉使いが雑になり、利用者様の気持ちや尊厳への配慮が不足することがある。

(目標) 排泄、更衣、相談時などの場面で周囲の目や声に配慮した支援を実施する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社サンライズ コーポレーション	代表者	袖潤 大地	法人・ 事業所 の特徴	大悟法地区の地域に根差した施設を目指しています。 施設は家庭的で明るい、自由な雰囲気を中心に掛けています。また、お一人お一人の心身の状況とニーズの応え、多機能性を活用しそれぞれの個別プランで在宅生活を支援しています。
事業所名	小規模多機能ホーム だいきぼう	管理者	橋本 潤士		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	1人	1人	1人	1人	0人	3人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	それぞれの自己評価での改善点について話し合い、意見交換し良いサービスに繋げる。	ご本人様の「できる」ことを中心に計画を立て実施してきた。概ね計画通り実施することができた。	職員一人一人が、やさしい声掛けで接し、大切にされていることが伝わりました。	事業所が実施した自己評価の内容をもとに地域や利用者様の課題に応じたサービス提供ができていのかを確認し、改善につなげる。
B. 事業所のしつらえ・環境	施設のことを地域へ発信しつつ施設内で快適な居場所と居心地の良い事業所作りを意識する。	だいきぼうワクワク広場、野菜マルシェなど開催し、地域へ施設のことを発信してきました。また、地域行事に参加し顔見知りの関係も築くことができた。	施設のことを知らない方々が多い中、施設のことを発信することは、とても良い取り組みだと思います。とても楽しく過ごせました。	利用者様が自宅に近い環境で安心して生活できるよう、家庭的な雰囲気と環境整備、清潔保持、安全対策に努める。
C. 事業所と地域のかかわり	利用の有無に関わらず近隣の方の介護の相談などができる事業所を目指していく。	だいきぼうワクワク広場、野菜マルシェ開催時には、施設内を見学できるように開放した。その中で介護相談も実施することができた。	困っている方はたくさんいると思いますので、情報共有できれば良いですね。	地域行事への参加や地域住民との交流を通して、地域との繋がりをふやす。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域行事の参加を行いながら、地域に出向いて、楽しく活動する機会を増やす。	季節ごと開催される地域行事内容を確認し、お祭りの手伝いなど地域との繋がりをつくった。今まで地域で行われていた行事に病気が原因で参加できなかった利用者様も参加する機会を作り喜ばれた。	地域のお祭りに参加してる利用者様をみかけます。喜ばれていましたね。	施設周囲の地域行事だけでなく、利用者様それぞれ生活してきた地域の行事へ参加する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で出た意見を事業所会議に取り上げ改善に努める。	運営推進会議にて話し合われた情報をスタッフ会議にて共有した。	地域の情報を会議の場で共有できるといいですね。	運営推進会議での意見交換を通して地域の声を把握、事業所の運営に反映させる。
F. 事業所の防災・災害対策	運営推進会議において、事業所がどのように地域の防災訓練に関わりができるのかを検討する。	日中に火災避難訓練、防災訓練の計画を立て、利用者様と職員で実施した。また、中津市防災危機管理課の方に防災について講話をして頂き職員全員で共有した。	現在、地域での防災訓練はシェイクアウト訓練のみ実施しています。災害が発生することを考えれば、どこまで備え、訓練しておけばいいのは難しい。	施設での防災訓練を実施しつつ、地域で開催されている防災訓練へ参加、防災体制の強化に努める。